

青森県教育委員会第896回定例会会議録

1 期 日 令和5年9月6日(水)

2 開 会 午後1時30分

3 閉 会 午後1時45分

4 場 所 教育庁教育委員会室

5 議事目録

議案第1号 令和5年度青森県教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書について・・・・・・・・・・・・・・・・・・原案決定

6 出席者等

・出席者の氏名

風張知子(教育長)、野澤正樹、平間恵美、戸塚 学、新藤幸子、安田 博

・欠席者の氏名

なし

・説明のために出席した者の職

長内教育次長、高橋教育政策課長、早野職員福利課長、嵯峨学校教育課長、吉川教職員課長、木村学校施設課長、小舘生涯学習課長、伊藤スポーツ健康課長、坂本文化財保護課長、外崎高等学校教育改革推進室長

・会議録署名委員

平間委員、新藤委員

・書記

小林浩一、小路口晶子

7 会 議

事務局からの報告

(長内教育次長)

既に報道により御存知のことと思うが、去る8月24日、県内の中学校教諭が「不同意性交等」の疑いにより逮捕される事案が発生した。

事案の概要は、逮捕時の警察の発表によると、令和5年8月20日、青森県内のホテルにおいて、県内居住の10代の女性に対して、不同意性交等を行ったものである。

今後は、可能な限りすみやかに事実関係を把握し、厳正に対処して参る。

(教育長)

何か質問、意見はあるか。なければ報告については、青森県教育委員会として了解した。

8 議 事

議案第1号 令和5年度青森県教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書について (高橋教育政策課長)

会議資料の1ページ目と別冊報告書(案)の1ページ目をあわせて御覧いただきたい。

別冊報告書(案)の1ページ目の冒頭、1趣旨の欄に記載があるが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果については、報告書を作成して、議会に提出するとともに、公表することとされている。本議案は、この規定に基づき、令和4年度の教育委員会の事務について点検及び評価を行い、報告書にまとめたので御審議いただくものである。

続いて、同1ページ目の2(3)点検・評価の方法の欄に記載があるが、点検・評価に当たっては、県が実施している、青森県基本計画の成果を検証する「政策点検」の仕組みを用いた。また、青森県総合計画審議会委員の意見を「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく教育に関し学識経験を有する者の知見として活用し、報告書を取りまとめている。

続いて、3報告書の構成の欄に記載しているが、この報告書は、青森県基本計画の中の「教育、人づくり分野」のうち、教育振興基本計画で示している10の施策ごとに、令和4年度の実績状況について、現状を表す指標等を用いながら点検及び評価を行い、効果的な教育行政の推進に活用できるよう、課題を明らかにするとともに今後の取組の方向性について記載している。点検及び評価結果の詳細については、別冊報告書(案)の7ページ目以降で具体的に記載している。

なお、報告書については、この後、県議会に提出するとともに、県教育委員会のホームページで公表する予定としている。

(戸塚委員)

令和5年度の点検・評価ということで、本当に御苦労されたと思う。

内容を見ていくと、ここ何年かコロナ禍で、様々な事業の部分で展開が難しかったところもあったと思うが、それが少し上向きになってきた部分等も見受けられた。

青森県教育振興基本計画が2019年度から2023年度、本年度までということになっている。今、青森県教育改革有識者会議も立ち上がり、次に向けた議論も進み始めたところだと思う。この令和4年度の点検・評価の結果が、次の令和5年度に活かされるように、そして次の教育振興基本計画に結びつくような方向で進めていただければと思う。

点検・評価の報告書は年度の中盤ぐらいで出てくることになるが、実際、各課では年度当初に様々な昨年度の取組に関して情報共有していると思うので、令和4年度の点検・評価を今年度に活かしていただきたい。また一方で、次年度から新しい取組が始まるため、そういうところでこの点検・評価は重要となり、客観的・俯瞰的な部分、またある部分では細かい部分での見方ができると思う。よろしくお願ひしたい。

(野澤委員)

今年の点検・評価の報告書の中で画期的だと思うのは、2ページ目に書いているいわゆる学識経験者の知見の活用の中の、県総合計画審議会における今年度7月に取りまとめた「教育・人づくり分野」に関する提言が、内容的には昨年度と同じように見えるが、並びが違うことである。先ほど、我々教育委員は昨年度の報告書を手元に置いて議論したが、各課長にもぜひ見ていただきたい。

何が違うかという点、第一に、「安心して子どもを産み、育てられる社会の推進」、それと同時に、「子ども達のウェルビーイングの実現に向けた教育環境づくり」というキーワードで整理していることである。確かに、今年度の報告書は、昨年度の取組についての報告書であるため、今議論されている流れには沿っていないが、これから1年間行う様々な施策に関しては、今年度7月に取りまとめた新しい教育分野の方々の提言に沿って、子どもを中心にした様々な教育行政の流れを再度確認していくということで、的を射た分かりやすい提言のまとめになっていると思う。

昨年度まで出ている報告書の教育・人づくり分野においては、冒頭、「ふるさとを愛し地域をリードできる人財の育成」から始まっていた。ところが、今回は、あくまでも「安心して子どもを産み、育てられる社会の推進」と同時に、「子ども達のウェルビーイングの実現に向けた教育環境づくり」という項目を述べて、それらを学識経験者の方が我々に提言している。今年度は、それを意識した様々な施策が実行に移るという中で、戸塚委員が話したように、発展するような内容に進んでいき、それは来年度新しい報告書になっていくと思うが、似ているように見えて、劇的に変わると私は考えている。先ほど教育委員の方でも議論したが、実際に仕事をする事務局の皆さんの立場からもそれを確認して、今年度の新しい取組に向かっただきたい。

今年度の点検・評価に関しては、昨年度の提言に基づいた各分野、10の大きな施策、さらにその細目について、丁寧に報告していると思う。

(平間委員)

点検・評価の報告書について感謝する。各担当課の皆様の昨年度1年間の成果がここに表れていた。2ページ目にあるとおり、子どもたちのウェルビーイング、青森県の子ども達を誰一人取り残すことなく、青森県が責任を持って学びを保障するという大きな目標が

明確になり、さらに、4年度のそれぞれの施策に関する取組、成果、課題が分かりやすく、見やすくまとめられており、近年にない非常によい報告書になっていたと思う。

また、今始まった青森県の教育改革に、これとリンクする部分や問題点がたくさん出ていると思う。特に、教職員の働き方改革においては、これまでの総合教育会議でも出ていたように、34ページにある学校・家庭・地域との連携が必要ということなど、大きな問題点が課題として点検・評価の中に出ており、今後の青森県が目指す教育改革に向けてのポイントがこの中にたくさんある。

これらとリンクしながら、教育委員会全体が、青森県、今まさにやっている教育改革と一緒に、子どもたちの教育、学びの場をさらによいものにできればと思う。

(新藤委員)

私も同じように、最初の2ページ目のところに子どもたちのウェルビーイングという文言が入ったことは、非常に大きなことだと思っている。

点検・評価の内容については、非常に分かりやすく、見やすく作成していただき感謝する。子どもたちは、青森県の未来の人材であるということはもちろんだが、今の子ども達の幸せということを考えていく上では、このウェルビーイングを入れていただいたのは非常にありがたい。今後の方向性として、課題を見ながらそういったところに取り組んでいけると思うので、よろしく願いしたい。

(教育長)

ほかに御意見等はあるか。なければ議案第1号については原案のとおり決定する。